

令和6年（2024年）5月9日

やまがた共創塾「やまがたモデル」を活用したカーボンニュートラル人材育成プログラムを開講します。

～自治体のカーボンニュートラル活動をempower～

【本件のポイント】

- 山形大学は飯豊町と共同で地域の温室効果ガス排出量を可視化するモデル「やまがたモデル」を構築した。[（令和5年8月3日プレスリリース参照）](#)
- 「やまがたモデル」は自治体が保有している既存のデータを用いて、地域の温室効果ガス排出量を可視化することができる。
- 「やまがたモデル」を活用できる人材を育成し、自治体におけるカーボンニュートラルを促進する契機を醸成する。



（左：後藤武蔵さん 右：小野優太朗さん）

【概要】

本学と飯豊町が共同で開発したカーボンニュートラル「やまがたモデル」を活用できる人材を育成するプログラムを開講します。

講師は飯豊町の地域おこし協力隊兼山形大学連携研究員（YU-SDGs 連携研究員）である後藤武蔵さんと小野優太朗さんを招聘するとともに、アドバイザーとして、本学農山村リジェネレーション共創研究センター教授で、「やまがたモデル」の構築を主導した林田光祐、他山形大学教員が参画します。

環境省のデータでは把握できない自治体ごとの温室効果ガス排出量を既存のデータを用いることで可視化できる「やまがたモデル」の概要や、温室効果ガス排出量を可視化することのメリット、可視化の計算方法を学ぶことができるプログラムです。

講師の二人が住民をどのように巻き込みながらカーボンニュートラルの取り組みを進めたのか、実体験を交えながらカーボンニュートラルを学ぶ貴重な機会ですので、是非、受講してください。

○プログラム概要

【対 象】 山形県内及び近隣県の自治体職員（地域おこし協力隊含む）

【参 加 費】 無料

【期 間】 2024年6月中旬～9月下旬（全4回）

【受 講 方 法】 Online(zoom)及び対面（会場：山形大学小白川キャンパス）

【申 込 先】 <https://forms.office.com/r/cmrTbBHGGm>

【申込締切日】 2024年6月7日（金）

○プログラム詳細

【構成】

第1回：「やまがたモデル」の概要及び可視化するメリット[60分]（2024年6月14日 14:00-15:00）

第2回：可視化の計算方法（飯豊町の事例紹介）[60分]（2024年7月19日 14:00-15:00）

第3回：SDGs カードゲーム[180分・対面のみ]（2024年8月23日 13:30-16:30）

第4回：まとめ[60分]（2024年9月20日 14:00-15:00）

ホームページ：https://sdgs.yamagata-u.ac.jp/bulletin/information/detail_354.html

お問い合わせ

総務部総務課社会共創推進事務室（SDGs 担当）

TEL 023-628-4497 メール yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた共創塾

「やまがたモデル」を活用した カーボンニュートラル人材育成プログラム

本プログラムは、温室効果ガスの排出量を自治体を持つ既存情報を用いて可視化することができる「やまがたモデル^{*}」を活用して自治体におけるカーボンニュートラルを促進する人材を育成します。

○プログラム概要

【対象】 山形県内及び近隣県の自治体職員（地域おこし協力隊含む）

【参加費】 無料

【期間】 2024年6月中旬～9月下旬（全4回）

【受講方法】

Online(zoom)及び対面（会場：山形大学小白川キャンパス）

（詳細は受講者確定後、別途連絡します。）

【申込先】

<https://forms.office.com/r/cmrTbBHGGm>

申込締切日：2024年6月7日（金）

【問い合わせ先】

国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室（SDGs担当）

電話番号：023-628-4497

E-Mail：yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

[申込先QRコード]



※「やまがたモデル」は飯豊町と山形大学が構築した地域のカーボンニュートラルを実現するモデルです。詳細は[コチラ](#)

〈主催〉



〈協力〉



飯豊町



やまがた社会共創
プラットフォーム

○プログラム詳細

第1回：2024年6月14日（金）14：00-15：00

「やまがたモデル」の概要及び可視化するメリット[60分]

第2回：2024年7月19日（金）14：00-15：00

可視化の計算方法（飯豊町の事例紹介）[60分]

第3回：2024年8月23日（金）13：30-16：30

SDGsカードゲーム[180分・対面のみ]

第4回：2024年9月20日（金）14：00-15：00

まとめ[60分]

【講師】



小野 優太朗（Ono Yutaro）※写真右

宮城県名取市出身。飯豊町地域おこし協力隊。
YU-SDGs連携研究員（ゼロカーボン推進員）。

東北大学大学院 環境科学研究科卒業。
石油精製会社入社し、運転管理・省エネ・効率化に従事後、IT会社へ転職し、システム開発に従事。
2021年10月から飯豊町地域おこし協力隊として活動。
2022年12月山形大学からYU-SDGs連携研究員の委嘱を受け、ゼロカーボン推進活動を行っている。

後藤 武蔵（Goto Musashi）※写真左

山形県飯豊町出身。飯豊町地域おこし協力隊。
YU-SDGs連携研究員（SDGs推進員）。

東北大学大学院 環境科学研究科卒業。
自動車会社へ入社し、生産技術部にて、部品の製造ライン立ち上げに従事。
2021年10月から地元である山形県飯豊町において、地域おこし協力隊として活動。
2022年12月山形大学からYU-SDGs連携研究員の委嘱を受け、SDGs推進活動を行っている。

【アドバイザー】



林田光祐（Hayashida Mitsuhiko）

国立大学法人山形大学 教授（農山村リジェネレーション共創研究センター）。
前副学長（国際交流・SDGs担当）
博士（農学）、専門は 森林科学。

山形大学SDGs タスクフォースのリーダーとして、学内及び地域のSDGs活動を積極的に支援する各種事業を担い、カーボンニュートラルを実現するための「やまがたモデル」の構築を主導。

適宜、他の山形大学教員もアドバイザーとして参画予定。